

～ 井戸水の飲用に係る留意事項について ～

市が実施した地下水質調査において、寺井町内の井戸水で指針値（50ng/L）を超える「PFOS^{ビ-フオス}及びPFOA^{ビ-フオア}」が検出されました。

採水地点	井戸区分	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	合計値 (ng/L)
寺井町	浅井戸	8.9	43	52

※有効桁数2桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しません。

◆飲用には水道を利用しましょう◆

- ・最も安全なのは水道水を利用することです。
- ・水道から給水が可能な場合は、水道に切り替えることをおすすめします。
- ・水道水と井戸水を併用している方は、井戸水を洗車や植木の水やりなどの雑用水として利用してください。

<参考>

(1) 指針値について

PFOS 及び PFOA（合算値）：50ng/L 以下（水道水の暫定目標値と同じ値）

※体重 50kg の人が一生涯にわたって毎日 2 リットルを飲用したとしても、健康に悪影響が生じないと考えられる水準を基に国が設定したものの。

(2) ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）について

- ・有機フッ素化合物（PFAS（ピーファス））の一種で、化学的に極めて安定性が高く、また、難分解性のため、長期的に環境中に残留すると考えられています。
- ・2000 年代はじめごろまで、さまざまな工業で利用されており、私たちの身の回りの製品を作る際にも使われていましたが、2009 年以降、環境中での残留性や健康影響の懸念から、国際的に規制が進み、現在では、日本を含む多くの国で製造・輸入等が禁止されています。
- ・健康面への影響については、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系への影響等との関連が報告されていますが、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのか、確定的な知見はありません。なお、通常の一般的な食生活（飲水を含む）では、著しい健康影響が生じる状況にはないと評価されています。

◆詳しい情報・最新の情報は以下のQRコードから、環境省の資料をご覧ください。

リーフレット
「PFOS・PFOA とは？」
(R6.8月環境省)



PFOS、PFOA に関する Q&A 集
(R6.8月環境省・PFAS に対する
総合戦略検討専門家会議)

